

SchoolFarm in the city 教室から始まる循環型の未来

自分が育てた野菜を、給食で食べる。その教室から、未来が育つ。



社会課題と背景



空き教室 8,000校
(全国3万校中)



CSR/ESG投資
+9.2% (前年比)



探究教育市場
年+12.5%成長

学校には空き教室が、企業には社会貢献資金が。それらがまだ“つながっていない”のが現状です。



学校という信頼



- ・親は子どもを毎日預けます。
- ・企業は喜んでお金を出します。
- ・自治体は全力でサポートします。

学校は日本で
最も信頼されている場所



キャッシュフロー構成

3つの財布



学校の教育予算。
月12万円。
食育・SDGs教材。



給食会社の食材費。
月10万円。
輸送コストが消えた分。投資している。



企業のCSR予算。月5万円。
「子どもの未来に
投資している」という証明。

これまで給食会社が背負っていた部分をスポンサーや学校などで分散してできるし我々としても3つの財布がある。

ROI: 150%以上
投資回収: 2年以内

市場規模: 3万校 × 120万円 = 約3,600億円



市場の統合



EdTech市場



AgriTech市場



CSR市場

全てを統合しているのでここ一つでまとまるので投資しやすい



School Farm の循環モデル



学校の空き教室に
水耕栽培を設置



探究授業の一環で苗植え
収穫を生徒で行う



苗の状態等を生徒達自身
がタブレット端末で確認



給食会社に卸す



給食で自分の食べた野菜
が出てくる

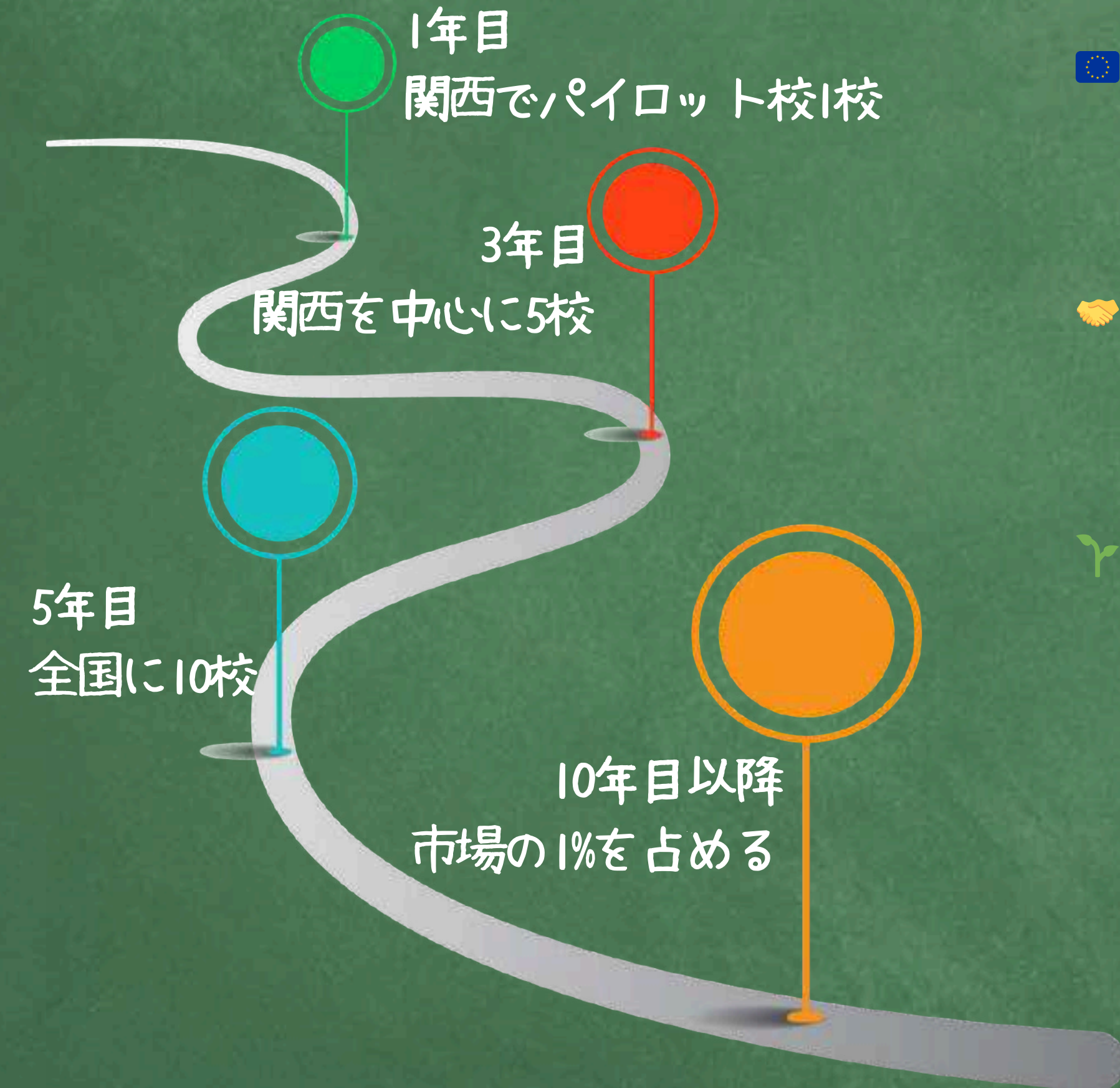


記憶に残り農業や食育
への記憶になる

つたえたいこと

子どもたちが、自分の学校で育った野菜を食べる。それは、“食育”という言葉では語り尽くせない体験です。School Farm は、教育・企業・地域をつなぐ「次世代の教室モデル」。教室から始まる、小さな循環が、日本の未来を変えます。

学びと地域をつなぐ日本の高専モデルを、世界共通の教育言語へ。



🇪🇺 教育連携：

- デュアル教育制度 × 日本型実践教育の融合
- 学びを地域課題と結びつける欧州モデルを共創

🤝 産業連携：

- 現地企業と共同でPBL・AI ロボ技術の開発
- スタートアップや研究者との交流・技術フェア出展

🌱 地域共創：

- 地方都市の人口減少を国際的なテーマとして共有
- “SchoolFarm” 型の教育×地域モデルを海外展開



以降ヨーロッパ市場への進出